２０２６年１１月１６日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 プロパンガス気化用電気ヒータ端子部の変色（火災）について

当社は、火災の発生防止に向けた再発防止対策及び安全管理の徹底に取り組んでいる中、火災を発生させ、地域の皆さまにご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

１１月１６日、東海第二発電所※1屋外東側エリアにおいて、協力会社社員が廃棄物処理系設備の付属設備であるプロパンガス気化用の電気ヒータ※2の点検中に端子部に変色を確認したことから、当社社員が公設消防に通報しました。

※１：沸騰水型軽水炉、定格電気出力１１０万キロワット。第２５回定期事業者検査中。
※２：液化されたプロパンガスを加熱して気化し、焼却炉へ安定的に燃料供給するための設備。現在、焼却炉は停止しており、電気ヒータは使用していない。

その後、公設消防が当該機器を確認した結果、端子部に溶融及び炭化が確認されたことから、１５時３０分に火災と判断されました。
詳細については、以下に記載します。
引き続き、本事象の原因を調査してまいります。

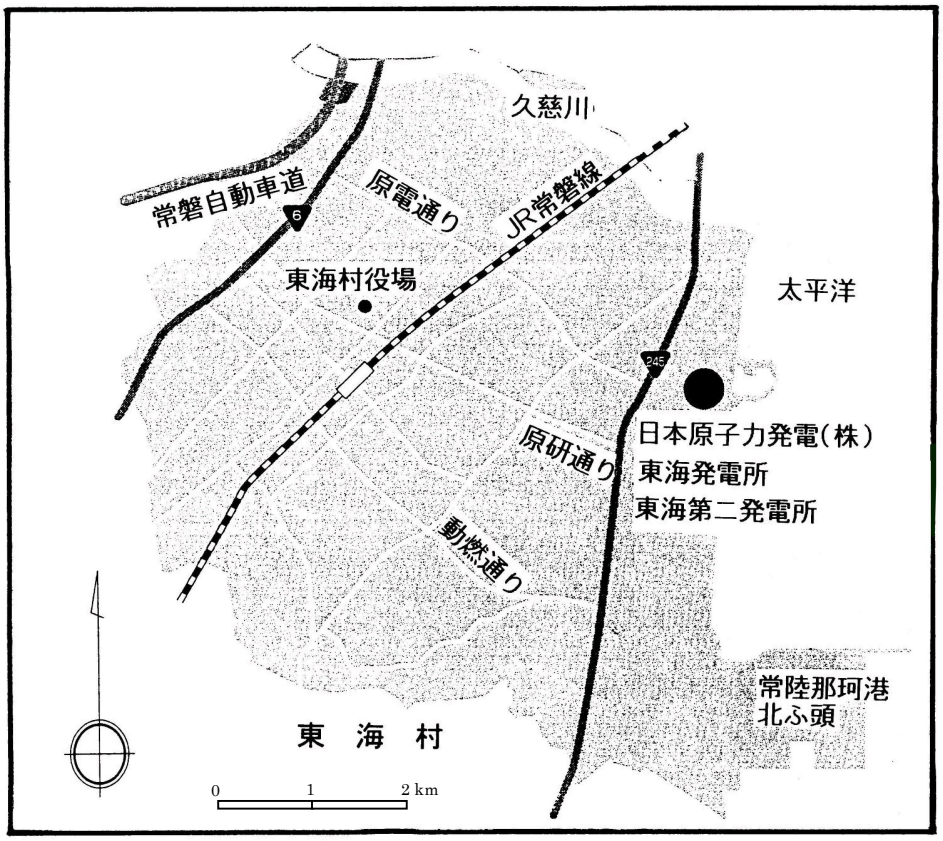
発生日時	：	１１月１６日１４時１７分頃
発生場所	：	東海第二発電所　屋外東側エリア（屋外：非管理区域）
発見者	：	協力会社社員
発見時の状況	：	１４時１７分頃、協力会社社員が、屋外東側エリアにおいて、廃棄物処理系設備の付属設備であるプロパンガス気化用の電気ヒータ端子部を点検したところ、変色を確認したため、当社監視所に連絡した。 このため、当社社員が現場を確認し、１４時３２分、公設消防への通報が必要と判断した。
公設消防への通報	：	１１月１６日　１４時３３分
現場の状況	：	１４時３２分、当社社員が現場を確認した結果、炎、煙、異臭なしを確認。
公設消防による確認	：	１１月１６日　１５時３０分に本事象を火災と判断。 同時刻に鎮火の状態であることを確認。
施設への影響	：	なし（当該機器以外に異常なし）
放射性物質の漏えい	：	なし
環境への影響	：	なし
人の汚染や被ばく	：	なし
人身災害	：	なし
備考	：	本事象は実用炉規則第１３４条（事故故障等の報告）に該当するものではありません。

添付資料

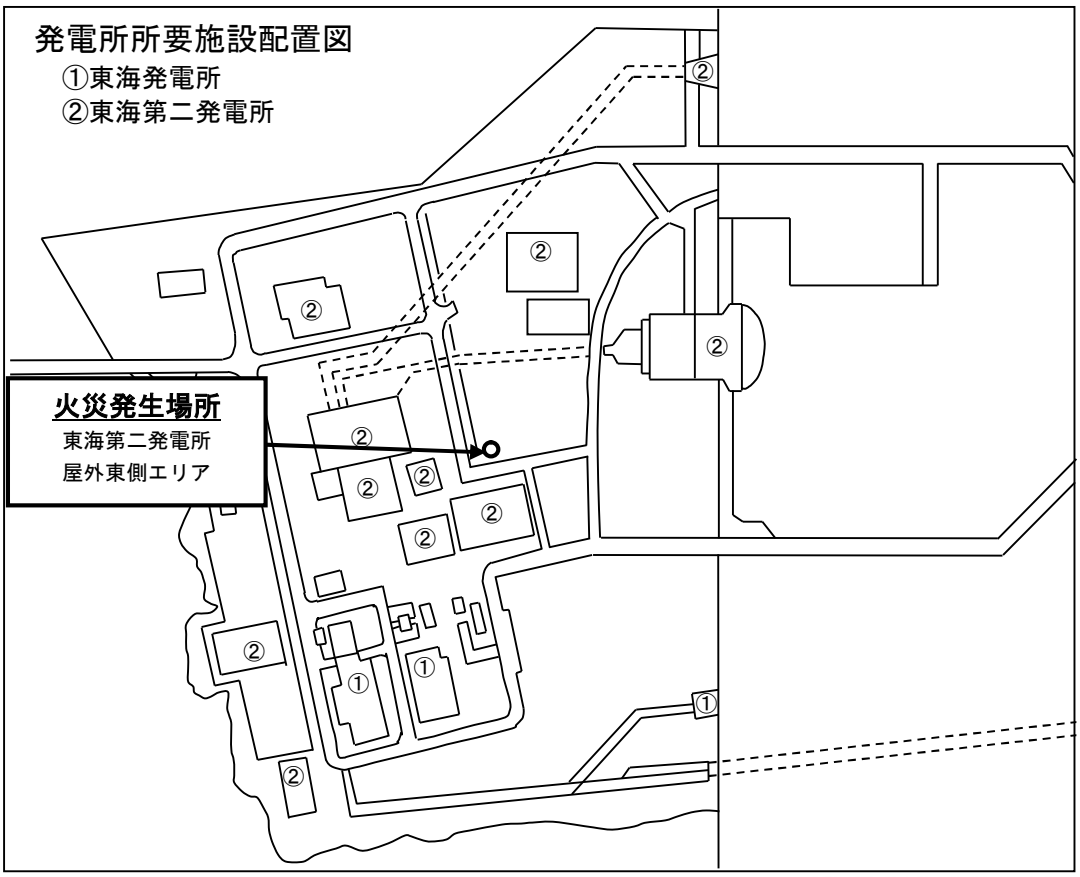
１．日本原子力発電株式会社　東海・東海第二発電所　位置図
２．東海第二発電所　プロパンガス気化用の電気ヒータ端子部の写真

以　上

日本原子力発電株式会社 東海・東海第二発電所 位置図



発生場所位置図



添付資料２

東海第二発電所　プロパンガス気化用の電気ヒータ端子部の写真

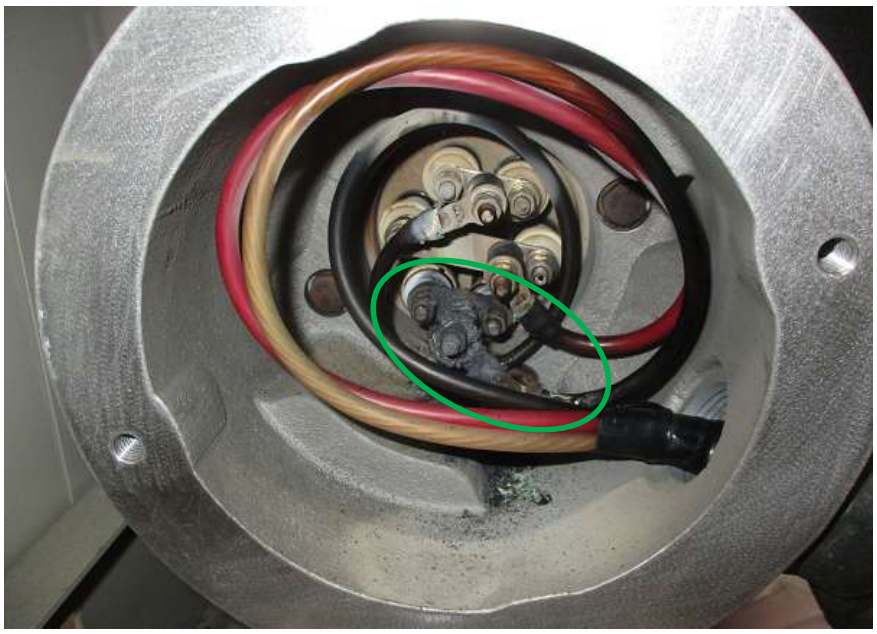


電気ヒータ

プロパンガス気化器設備

幅　：　約　５０ｃｍ
奥行：　約　７０ｃｍ
高さ：　約１２０ｃｍ

拡大写真



交　換：２０２４年１１月（新品）
点　検：１回／２年

：当該箇所